

朝日航洋、パスコら表彰

日本測量協会東北支部(渥美雅裕支部長)は4日、仙台市青葉区で業務報告会を開催し、第15回公共測量品質管理優秀賞の表彰式を執り行った。東北地区の受賞企業である朝日航洋東北空橋支社(仙台市泉区)やパスコ東北事業部(仙台市宮城野区)ら4社に対して、同協会の瀬戸島政博専務理事が表彰状を手渡し、功績をたたえた。



渥美支部長

た。

15回目の公共測量品質管理優秀賞は、2018年度に実施した公共測量成果の検定(地図作成、基準点測量)で、品質が特に優れていると認められた全国の測量会社35社を表彰。地図作成は281社から9社、基準点測量は1317社から26社が選ばれた。

東北地区では、地図作成で朝日航洋とパスコ、基準点測量で福建コンサルタント(福島県南相馬市)と双葉建設コンサルタント(山形県新庄市)の計4社が受賞した。

朝日航洋東北空橋支社は2010年度、15年度、18年度の計3回、15年度、18年度の計4回、福建コンサルタントは13年度に続いて2回目の受賞。双葉建設コンサルタントは初受賞を果たした。



渥美支部長(前列右端)と優秀賞の受賞者らが記念撮影した。

日本測量協会東北

測量の品質管理で優秀賞

瀬戸島専務理事は、測量の成果について「一点の曇り、一点の汚れも許されない。これが社会に広く出ていき、共に使われる」と話し、大河に注ぐ清流の一滴である例えた。「その大河の一滴を育んでいる森が受賞された4社の皆さん」であり、「その一滴をより清流として守っていくのが日本測量協会」と語り、「双方が連携を深めて公共測量の一層の品質向上を図りたい」と述べた。

業務報告会では、18年度の事業報告や、19年度の事業計画、役員改選などを確認。役員改選では、渥美支部長の再任などが決まっている。

あいさつで渥美支部長は、近年に自然災害が頻発化・巨大化していることについて触れ、災害対策において「最先端の測量技術がいかに重要」な存在を示すことが重要と発言。東日本大震災からの復興に「協会として最後まで全力で貢献したい」と述べるとともに、復興後も東北の社会資本整備・管理に大きな支障が出ないよう力を尽くす意向を示した。

2019

7月8日

月曜日

建設新聞

本社
青森支局
岩手支局
秋田支局
山形支局
福島支局
東京支局

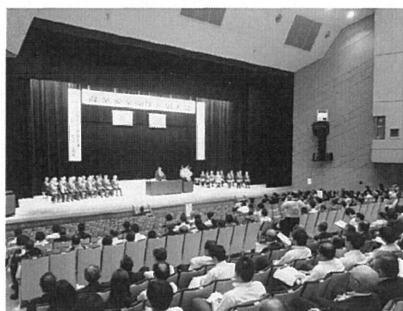
仙台市青葉区春日町
青森市古川1丁目21
盛岡市菜園1丁目3
秋田市山王4丁目3
山形市松波1丁目10
福島市宮下町17
東京都江東区豊洲1-

約800人が防災防止への決意新たに

産業安全衛生宮城大会

産業安全衛生宮城大会が4日、仙台市のトークネットホール仙台（仙台市民会館）で開かれた。約800人が参加し、安全衛生表彰

目指さなくてはならない。今回の大会を契機に安全管理活動を着実に実施してほしい。ことし1年、職場でゼロ災害が達成できるよう祈



なっている。政府が昨年12月に「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」を閣議決定し、2018年度補正予算や19年度当初予算で関連する公共事業予算を上積みしていることから、今後も後に続く自治体は増えそうだ。

国土強靭化基本法は、東日本大震災の教訓を踏まえ、事前防災・減災に向けた取り組みを総合的・計画的に実施しようと2013年12月に施行された。同法に基づき、14年6月には国土強靭化に関する国の他計画の指針となる国土強靭化基本計画を策定。内閣総理大臣を本部長とする国土強靭化推進本部も新設し、国全体で国土強靭化を押し進めていく体制を整えた。

ち東北は6県と12市町村が策定済み、滝沢市（岩手県）、仙台市、郡山市（福島県）の3団体が策定中という状況だ。

河川など地理的な面で関連性があり、河川のはん濫や津波などの共通のリスクを抱えていることから、より広域的な視点で災害対策に

東北では4社が優秀賞

19年度公共測量表彰

日測協

日本測量協会（清水英範会長）は4日、2019年公共測量品質管理優秀賞の東北地区表彰式を仙台市のホテルメルパルク仙台で開いた。瀬戸島政博専務理事が、優秀賞を受賞した4社に表彰状を手渡した。

瀬戸島専務理事は、受賞者をねぎらった上で「測量の成果は、全ての仕事の川上に位置し、一点の曇りも許されない。協会として、皆さんと連携しながら世の中に良い品質の成果を提供できるよう尽力していく」と力を込めた。

この表彰は、18年度に実施した公共測量成果の検定（基準点測量、地図作成）において、品質が特に優れていたと認められる測量会社を顕彰するため、品質法の施行を機に05年に創設。

安全大会

災害ゼロへ強い決意で

奥村組東北支店

奥村組東北支店（後藤靖彦執行役員支店長）は6月28日、2019年度安全大会を仙台市のホテルメルパルク仙台で開いた。墜落・転落災害防止対策の強化を最重点課題とし、死亡災害

員で、休業4日以上以上の災害を絶対起こしてはいけないと誓い合おう」と強く訴えた。

この後、各種安全表彰、優良職長の認定などのほか、安全に対する取り組み発表などが行われた。

最後に、シユプレヒコール「高めよう！安全への感受性、進めよう！安全の見える化、創ろう！安全最優先の職場」のスローガンと、墜落・転落防止のキャッチ

化 都市基盤などの整備、河川改修などの治水対策、土砂災害対策施設の整備・老朽化対策などを推進する方針を打ち出している。

ことしで15回目を数える。表彰された測量会社は全国で35社。このうち、東北地区は4社となっている。

東北地区で表彰を受けた4社は次の通り。

【基準点測量】
▽福建コンサルタント（福島県南相馬市）▽双葉建設コンサルタント（山形県新庄市）
【地図作成】
▽朝日航洋東北空情支社

（仙台市）▽パスコ東北事業部（同）



題となっている。国土交通省で

2019年(令和元年) 7月11日(木曜日)

日刊建設産業新聞

測量会社4社 を表彰

18年度公共品質
管理優秀賞―日本測量協

日本測量協会(矢口彰会長)は4日、仙台市のメルパルク仙台で、18年度に実施した公共測量成果の検定において、品質が優れている東北地区の4社を表彰した。

今年で15回目となる公共測量品質管理優秀賞は、全国で基準点部門1317社のなかから26



社、地図部門で281社から9社の35社が選定され、東北地区からは、基準点部門150社、地図部門16社のなかから各2社が受賞。同東北支部(渥美雅裕支部長)の定期総会終了後、瀬戸島政博専務理事から受賞者に記念品を手渡した。

瀬戸島専務は、「測量の成果は大河の一滴を育むようなもの。引き続き品質の向上を図っていきたい」と述べ、畠山裕司同支部技術センター長は「高い品質と技術により、現場力の向上につながることを期待したい」と語った。

受賞者は次の通り。

【基準点部門】▽福建コンサルタント(福島県南相馬市)▽双葉建設コンサルタント(山形県新庄市)【地図部門】▽朝日航洋東北空情支社(仙台市)▽パスコ東北事業部(同)。